



1506 号  
KANAGAWA RI D2780

# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

大和中ロータリークラブ会報

会 長 高橋 清 会長エレクト 館盛道明  
副 会 長 青柳文四郎 幹 事 飯田豊太  
例 会 場 八千代銀行 4F  
大和市大和南2丁目1番1号  
事 務 所 大和中央ビル 301  
TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818  
E-mail: naka-rc@marv.mediatti.net  
会報委員会 中島康次郎 石川健次 古木勝治

## 国際ロータリーテーマ

ロータリーの未来はあなたの手のの中に  
RI 会長 ジョン・ケニー

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「親睦と奉仕・広げようロータリーの輪」

## 本日のプログラム 9月17日

卓話「誰にでもできるエコ運転術」  
大和自動車学校教習指導員（岡本康弘 氏）

## 次回予告 9月24日

フリーディスカッション ”ロータリーの  
明日について”（プログラム委員会）

## 第1501例会 平成21年9月10日

司 会 SAA・岸 幸博  
斉 唱 「我等の生業」  
ソングリーダー 前原一男

ゲスト 田島 透（ふじさわ湘南RC・  
機管理委員長）

ビジター 長谷川 衛（大和RC）

欠席者 3名 梅野・小柳・小菅

以上敬称略

| 会員数 | 出席数 | 出席率    | 前々回修正  | 出席免除 |
|-----|-----|--------|--------|------|
| 40名 | 24名 | 91.89% | 86.49% | 8名   |

## 会長の時間 高橋 清 会長

◆日韓国際親善会議に後藤GE、高橋政勝会員、藤塚会員、梅田会員、館盛会員、石川会員が出席しました。



●梅田 秀雄会員 「韓国ソウルで日韓国際親善会議に後藤GE始め6名で行って参りました。日本側の出席者680名に対し韓国側が600名程度で少ない印象でした。姉妹クラブ会長・幹事の他、前RI会長の李 東建氏、2630地区GEの崔 俊鴻氏と名刺の交換、親交を深めて参りました。」

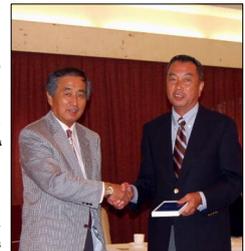
☆日韓国際親善会議 資料☆

<http://www.d2780.rotary.bz/pEvent.asp>

◆米山記念奨学基金より、中西功会員に米山功労者の表彰です。

◆本日は北京飯店様のご配慮で移動例会が開催できました。

◆9月15日（火）座間鈴鹿神社にて第6グループ会長幹事会が開催されます。



## 幹事報告 飯田 豊太 幹事

◆地区大会の会員負担金6,000円を宜しくお願ひします。

◆本日、例会終了後役員理事会を行います。

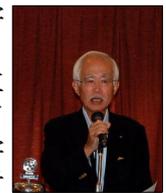
◆次週例会9月17日（木）も北京飯店です。

◆9月のRレートは1 \$94円です。

## 委員会報告

◆RI・地区情報 後藤 定毅 GE

8月30日に全国の米山記念奨学会の評議員会に出席しました。奨学生の対象者は、戦前の設立時に日本が迷惑をかけた東南アジアの学生だけから世界中の学生になり、基本的に成績優秀者を選考しています。優秀な中国人の方の比率が高いですが、一国の奨学生の人数は全体800人の45%程度に制限して、多くの国の学生に門戸を拓けています。日本での採用だけでなく、ベトナムでは現地に出向き選抜もしています。今年中国に学友会ができ、自分たちが日本人によって勉強ができたことへの恩返しにということ、みなさんの奉仕の気持ちが相手に伝わり着実に実を結んでいるんだということを感じました。



◆青少年交換学生報告 入江 公敏委員長

石川青燈（あずみ）さんからの報告です。無事に現地の到着され



ました。健康状態は良好で、9月より学校が始まります。二日後にロータリーの例会に参加しバナー等を渡しました。メール回覧しまずで確認下さい。

## 卓 話 「新世代と危機管理」

◆紹介者 石川 健次 新世代奉仕委員長  
「地区危機管理委員会委員長（ふじさわ湘南RC）田島 透様をご紹介します。

先月は我がクラブのホストで石川青燈（あずみ）さんがアメリカへ派遣学生として出発しました。優秀な学生ということで大変期待していますが、海外生活は楽しみな半面、常に何らかのリスクと背中合わせという現実もあります。先の地区協議会では青少年交換の問題点として危機管理についての発表がありましたが、交換留学生を受け入れる際にも、今までは問題にならなかったことでトラブルになることもあります。（善意の集団である）RCにおいても、危機に備えるという意識を待つことは当たり前であるというお話でした。我クラブでも、青少年交換の派遣や受入れ、米山奨学生のお世話などの機会が多くありますので、田島様の卓話を通じて、新世代育成に関連した危機管理の必要性を認識して頂ければ幸いです。」



「新世代と危機管理」について  
田島 透 地区危機管理委員長  
新世代月間ということで危機管理についてお話させていただきます。危機管理委員会は2年前に発足しました。

●新世代プログラムの認証制度のポイント  
青少年交換(含ショートステイ)・IA・RA・ライラの全てが新世代プログラムは2008年から全てRIの認証制度となりました。

- (認証の条件)
- ①RI声明の遵守 青少年と接する際の行動規範に関する声明(RI章典2.110, 1)
  - ②青少年に関するRI指針の遵守 虐待およびハラスメント防止と地区の方針(RI章典2.11)

世界共通のハラスメントの定義  
青少年交換プログラムに関わるボランティアの定義と誓約書

- (問題発生時の処理方法と手順について)
- ③地区危機管理委員会の設置  
2780地区危機管理規定(RI認証済み)
    - i 研修制度の確立
    - ii 外部有識者(非ロータリアン)の委員会参加
    - iii メディア担当委員の就任
    - iv RIへの報告教務(72時間ルール)
  - ④地区を法人化し危機発生に対して適応する保険に加入する。NPO法人ロータリー日本青少年交換委員会の設立(RI認証2008年4月)日本を34地区合同で設立 東京海上日動火災で1億円のハラスメント保険(保険料100万円)契約済み。毎年事前にRIに前年度実績を報告した上で新年度の認証を受ける

(衝撃的な事件)  
2009年1月24日(土)午後10時37分、11人の青少年又換学生が誕生日を祝うため、若者に人気のあるディスコへ向かって歩道を歩いているときに惨劇が起こった。  
24歳の鬱状態の男が歩道の人々に向かって無差別に銃撃し始めた。男は恋に破れ自暴自棄になっていた。無差別銃撃の後、男は自分の頭部を撃った。11人の青少年交換学生は、その場所にその時間に運悪くいたことで、惨劇に出会ってしまった。

1人の学生は胸部を撃たれて死亡し、もう1人は下腹部を撃たれて亡くなった。4人の学生は傷を負って入院した。残りの5人の学生は軽傷を負った。

5100地区青少年又換委員会は、午後11時30分に銃撃事件の知らせを受け、すぐに危機管理マニュアルに従って4人の青少年交換委員、アウトバウンド・コーディネーター、インバウンド・コーディネーター、委員会幹事、委員会副委員長、委員会委員長が行動を開始し、入院先の両院の救急センターを訪問して、学生の名前、国、傷の状態の情報把握に努めた。・地区ガバナーは、危機管理マニュアルに従って、被害学生の名前、出身国名、障害の程度をエド・フタRI事務局長へ第一報として報告。

田島 透 君  
(ふじさわ湘南RC)  
大和RCの皆様、危機管理委員会をお招き頂き有難うございます。



長谷川 衛 君(大和RC) : 久しぶりに伺いました。本日は宜しく。



## スマイル 郡司 守 委員長

高橋 清会長、飯田豊太幹事 : 地区危機管理委員長 田島 透様、本日はご多忙中お出で頂き有難うございます。新世代育成の卓話宜しく申し上げます。  
高橋 清会長 : ①日韓国際親善会議に後藤GE他、高橋さん、藤塚さん、梅田さん、舘盛さん、石川さんをご出席されました。

ありがとうございました。  
②本日は北京飯店のご好意で例会が出来ます。感謝申し上げます。会員の皆様にはご迷惑をおかけします。次週も北京飯店です。お間違えがえなく。

後藤 定毅 GE : 田島地区委員長ようこそ、日頃は青少年奉仕や水対策の御指導ありがとうございます。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

事件翌日の日曜日午後、地区青少年交換委員長は緊急会議を開き、ホスト・ファミリー、ホスト・クラブへ伝える惨劇の的確な情報および今後のフォローアップのためのタスクフォースを立ち上げた。・地区青少年保護委員がメディアへの報道官となり、地区青少年交換委員長がすべての青少年交換活動関係の責任者となった。月曜朝にポートランド中央署のブリーフィングに出席し、夕方には9人の生存者の心のケアのためのカウンセリングのセッションを立ち上げ、専門のカウンセラーと地区青少年交換委員を配した。辛く困難な時に派遣候補学生の告別式の準備と、ペルーからの来訪学生の遺体を本国へ送り届けるという仕事に一生懸命取り組み1月30日に死亡学生の告別式が行われる。ペルーからの来訪学生の遺体は保管安置され本国への送還を待っている。

オレゴン州とワシントン州の全ての高校では、青少年交換学生のトラウマを癒すために必要なカウンセリング・セッションを作ることになった。亡くなった学生のための記念奨学金基金が彼女のスポンサークラブによって作られた。また、来訪学生のホストクラブは将来のクラブでホストする青少年交換学生のための記念基金を作る予定である。2009年1月24日基金が被害者とその家族へ援助の手を差し伸べるために設立された。

皆様からのご支援やお折りに心より感謝します。予測不可能なこのような惨劇にどう対処していったらよいのか、その責任の大きさに心がくじけそうになりますが、危機管理のマニュアルに従い、一步一步対処していております。このような惨劇にも関わらず、私たちはロータリー家族として、世界の明日を担うリーダーとなる素晴らしい若者とともにこの青少年交換プログラムをますます発展させていくことは、私にとりまして大きな喜びであることに変わりありません。

皆様のご支援に感謝しつつ・・・訳責：開場康博

●信頼と友情・奉仕の精神で築き上げられてきたロータリー新世代育成事業(奉仕活動)に対して“今なぜ”新世代育成プログラムにお

る虐待とハラスメント防止なのか?危機管理の仕組みが必要なのか?

●RIが虐待とセクハラに対する指針策定を進めてきた経緯

大阪世界大会(2004年)での衝撃・PGの逮捕・米国国務省の警告

巨額賠償の判決(DGに対し、RIに対し)

日本風土・文化と世界基準(認識)の差

新世代育成プログラム全般に共通する問題

●大阪世界大会での衝撃

・大阪大会のワークショップで、この問題が取り上げられて当時のRI青少年交換委員長のジョンウィークフィールド(オーストラリアのPG)、ブレスグード(RIBI、イギリスのRN)、それからフリーダプリックスという南オーストラリアの大学の名誉教授のスピーチがあり、その段階で発表されたのが、2003年8月に、オーストラリアの元青少年交換学生の2人が、ABC放送という全国版のラジオのインタビューを受けて、身に起きた性的虐待のことを証言したということで、この問題が沸騰したのです。

数人の発表があり、加害者というのは、ロータリアンのホストファザー、もうひとりクラブの会長から辱めを受けたということです。またクリスというイギリスで27年間警察官を務めたロータリアンですが、彼が入手しているRIの報告によると、現在この問題で刑期を努めているロータリアンもおり、そのうちの一人はDGであるということです。フリーダプリックス教授は、自分が1950年にベルギーに交換学生として派遣され、自分の受けた辱めの体験談を話され、その後自分のキャリアとして児童保護の分野に進まれて相談事の内容を細かく発表されたということです。

3人の共通点は、信用・信頼そのものが悪用されている。責任あるロータリアンがその地位を利用して、交換学生をアビュースアンドハラスメントしている。この問題の95%がホストファミリーの中で起きているということです。

法執行機関に通報されている例は1%にも満たない、ほとんどが泣き寝入り。自分の胸に彼ら彼女らはしまいでんしている。また丸め込まれ

石川 健次 君：地区危機管理委員長の田島様 本日は宜しく お願いします。



館盛 道明 君：8月30日 政変の日が誕生日でした。何ともはや63才今年から心気一変かな？ わかんない！

鎌田 稔 君：今週、来週と例会場変更をお願いしました。

埴 満子 プログラム委員長：次週(9月17日)のプログラムは大和自動車学校ベテラン指導員岡本氏の卓話「誰にでもできるエコ運転術」に変更です。山崎会員の「HPについては」10月29日に変更しました。宜しく お願いします。



入江 公敏 君：創業記念のお祝い有難うございました。

松崎 正実 君：結婚記念日の お祝い有難うございます。34回目という中途半端な回数ですが、二人で頑張ってます。



|    |          |
|----|----------|
| 本日 | 14,000円  |
| 累計 | 203,500円 |

てしまっているということです。

訴訟問題に発展して結審した場合の支払い例は 2件ほど出ており、その金額は日本円の約6800万円と3200万円。

### ●巨額賠償

青少年交換プログラムは、クラブ対クラブだということは理解されていますね。たとえば、クラブ対クラブで地区がお世話をするわけですが、この問題で万が一クラブの会長が、青少年交換できたインバウンドの学生にセクハラをしたと仮定して、捕まったとき賠償金が6000万だとされた。

ですからリスクマネジメントに対して法人格をとって、補償金をどこかで対応しないと大変なことになるかもしれないということだとお考えください。これが法人格をとらなければならないということを出されたのご理解いただいて論議をして頂きたいのです。

会長が支払えない、これはクラブの責任で支払わなければなりません。

クラブが支払えないときには誰が支払うか。責任者であるガバナーです。ガバナーは地区の責任者だからです。

### ●交換留学生を性的虐待から守れと米国務省が対策に乗り出す。

高校生たちが異文化に触れながら英語を学べる交換留学は、長い実績と伝統を誇っています。米国でも、各国から訪れた交換留学生が、受け入れ先であるホストファミリーに滞在しながら、学校に通っている。ところが、10代のこうした若者たちがホストファミリー先で、性的虐待を受けるケースが近年目立ち、米国務省が対策に乗り出している。

米国には、過去10年間で25万人以上の交換留学生が訪れている。米紙プレス・エンタープライズによると、この間交換留学生が、性的虐待に巻き込まれたケースは5件しかなかった。ところが、この数字が、性的虐待事件の実態を反映していない可能性が大きくなったのは、近年メディアの報道などを通じて、相次いで悪質な性的虐待事件が明るみに出ているからです。

判明しただけでも、性的虐待事件は、少なくとも過去3年間で7件発生している。米カリフォルニア州ムリエタ市で2003年、ホストファミリーを勤めていた35歳の男性教師が、交換留学生の15歳のドイツ人女子高校生を性的に虐待した。同教師は04年、禁固3年の判決を受けた。また米東部メリーランド州では04年に、ホストファミリーの生物学の高校教師が、17歳のドイツ人女子高校生の寝室に入り込み、性関係を強要した。このほか、交換留学生の面倒を見るコーディネーターが、ヨーロッパ出身の3人の男子生徒を暴行した事件も起きている。

### ●ホストファミリーの犯歴チェックも

こうした事態を重視した米国務省はこれまでの甘い管理を軌道修正。ホストファミリーや交流団体などに対し、性的虐待事件が判明し

た場合に米国務省や警察に速やかに報告することを教務付ける新しいルール作りを急いでいる。またこれに併せ、ホストファミリーになった夫婦らの犯罪歴も事前にチェックされることになる。米国務省では10月11日までに各方面からの意見を集約、来年1月から新しい規則を適用する考えだ。交換留学生を受け入れるホストファミリーになるのは、ボランティアの人たちだ。このためあまり厳しい基準を設けると、ホストファミリーになる家庭を探すのが困難になるとの声も上がっている。またホストファミリーの犯罪歴チェックに関しては、カリフォルニア、メリーランド両州で起きた性的虐待事件の二人の教師は、いずれも過去に犯罪歴はなかった。犯罪歴がない者が、性的虐待を犯す場合があるため、完全に性犯罪を食い止めるのは、なかなか容易ではないようだ。

一方、交換留学生は全米に広がっているが、彼らは、受け入れ先のホストファミリーの関係から、性的虐待などを受けても無力感に陥り、当局に報告するのを敬遠する傾向があるとも指摘されている。

カリフォルニア州オーシャンサイドにある「交換留学生の安全のための委員会」の代表ダニエル・グリハルバさんは、この問題は極めて醜悪で、若者が（このような問題を抱えて）帰国するのは、恐ろしいことだ」と話している。

米国務省は、将来的に、交流団体などが性的虐待の報告を怠るような事例が起きた場合、その若者が参加していた交換留学プログラムが停止になることもあると警告している。

### ●危機管理の重要性

- ・危機が発生する前の予防(リスク管理)
- ・危機が発生してからの対応(クライシス管理)
- ・危機後の対応(アフターケア管理)それぞれに対し、仕組みを作る必要があります

### ●青少年育成の必要性

- 1905年 ロータリークラブが設立されてすぐ
- 1913年 NY-RCが障害児委員会設置
- 1916年 新世代活動プロジェクトを行う常設委員 会設置
- 1921年 国際身体障害児協会
- 1924年 全国青少年活動委員会設置
- 1929年 交換学生として米国から欧州へ
- 1959年 R Y L A誕生
- 1962年 I A C誕生
- 1968年 R A C

以上

